

NEW電動装置

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

■梱包明細書

①NEW電動装置

名 称	員 数	
	右収納用	左収納用
駆動ローラボックス(右収納用)	1	-
駆動ローラボックス(左収納用)	-	1
駆動ローラボックス用カバー	1	1
駆動ローラボックス取付けL金具	2	2
固定ローラボックス	1	1
固定ローラボックス用カバー	1	1
駆動ローラ調整ツマミ	1	1
エンドストッパー	2	2
電源コード	1	1
アース線	1	1
M4×10ナベWセムス	6	6
φ4×12トラス1種	11	11
φ4×12トラス3種	11	11
φ4.1×32丸木ネジ	13(6)	13(6)
M4×10特サラ(D=6)	9	9
取付け説明書	1	1
取扱説明書	1	1

注意)カッコ内員数はアイボリーホワイト

②電動装置取付け金具セットA

名 称	員 数
駆動ローラボックス取付けアングル	2
コントロールボックス取付け金具	2

③電動装置取付け金具セットB

名 称	員 数
駆動ローラボックス取付けアングル(2)	2
コントロールボックス取付け金具	2

④リモコン送信器

名 称	員 数
リモコン送信器	1
電池(LR44)	4

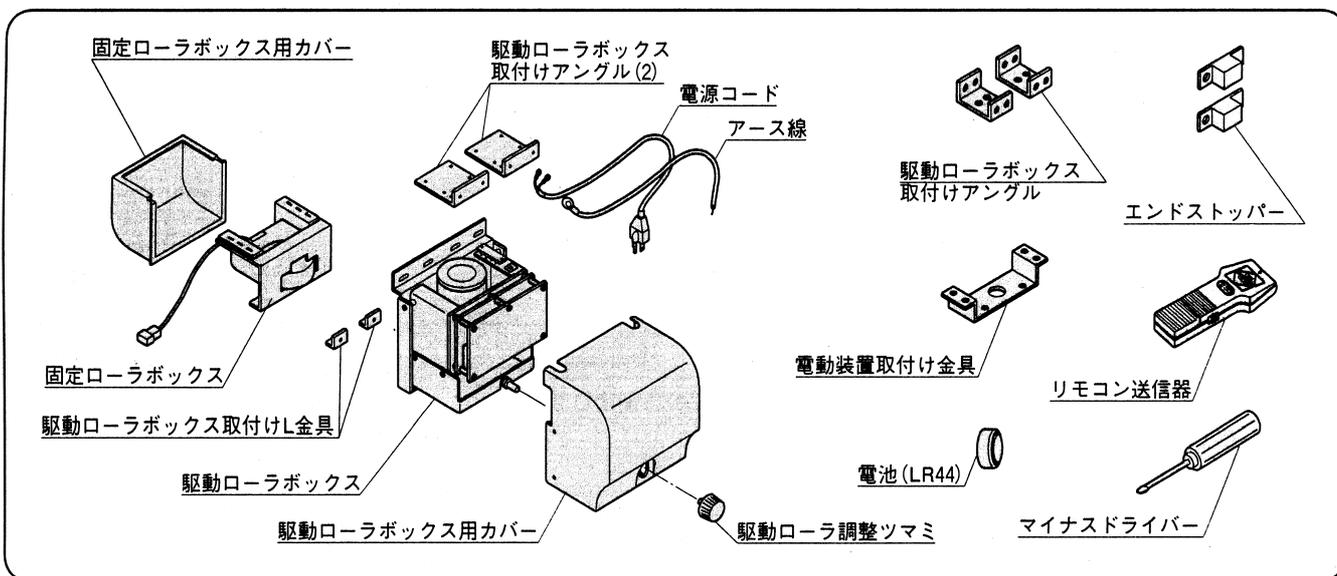
⑤電動取付けセット

名 称	員 数
電動装置取付け金具	1

■梱包確認表

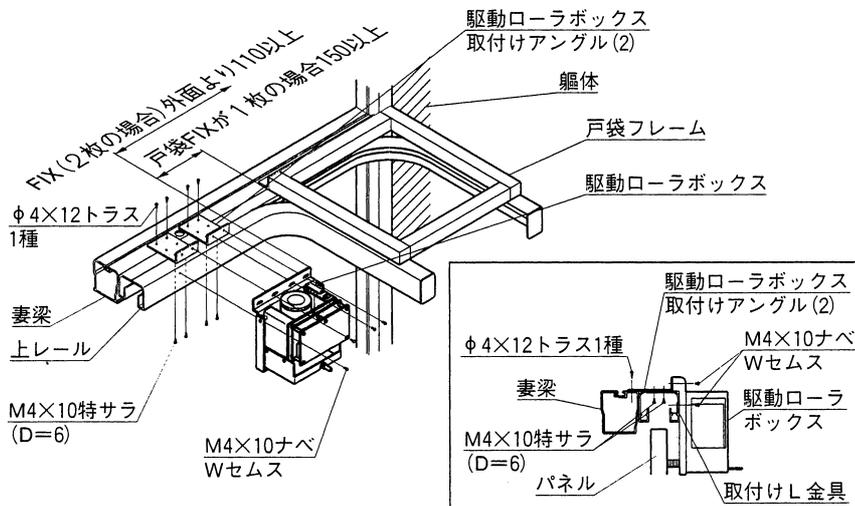
名 称	員 数									
	パティオ・パティオFタイプ・フィールドタイプ					バーゴラ				
	両開き	納め(1)・(3)		納め(2)		両開き	納め(1)・(3)		納め(2)	
右収納用		左収納用	右収納用	左収納用	右収納用		左収納用	右収納用	左収納用	
NEW電動装置(右収納用)	1	1	-	1	-	1	1	-	1	-
NEW電動装置(左収納用)	1	-	1	-	1	1	-	1	-	1
電動装置取付け金具セットA	-	-	-	1	1	2	1	1	1	1
電動装置取付け金具セットB	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-
リモコン送信器	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
電動取付けセット	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1

1.各部の名称



2. 駆動ローラボックスの取付け

2-1 パティオタイプ・パティオFタイプ・フィールドタイプ 両開き・納め(1)・納め(3)



1 戸当りパネルの引手が駆動ローラボックスより前に出るようにパネルを引き出して下さい。

2 駆動ローラボックス取付けアングル(2)を駆動ローラボックスに仮止めて穴あけ位置を決めて下さい。

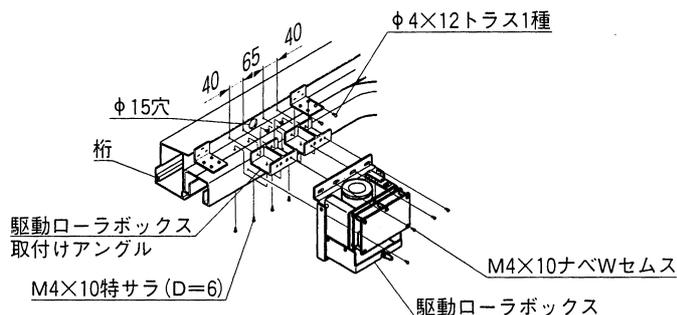
3 取付けアングル(2)を妻梁・上レールにネジ止めして下さい。

4 取付けアングル(2)間に固定ローラボックス用の配線穴(φ15)をあけて下さい。

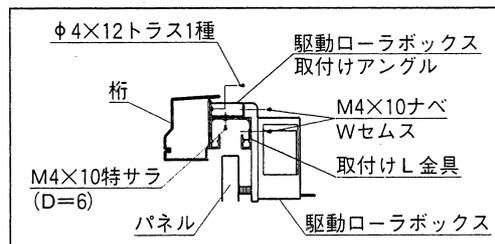
5 上レールに駆動ローラボックスの止め穴(φ4.5)をあけて下さい。

6 上レール内側に駆動ローラ取付けL金具を入れ、駆動ローラボックスをネジ止めして下さい。

納め(2)

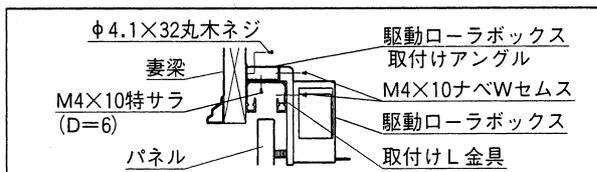
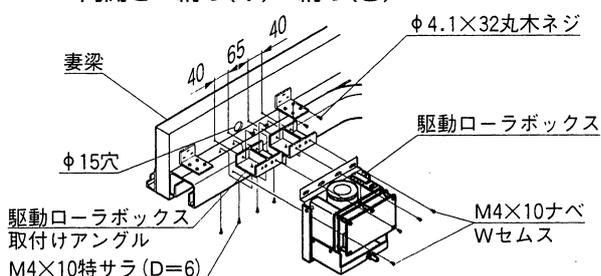


1 駆動ローラボックス取付けアングルを桁につき当て左図寸法を参考にネジ止めして下さい。

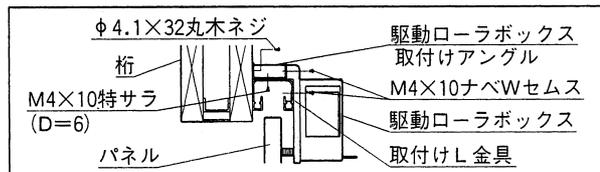
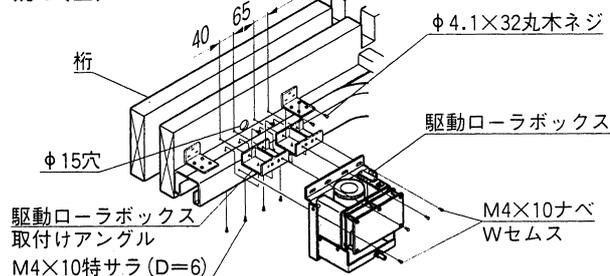


2-2 パーゴラタイプ

両開き・納め(1)・納め(3)



納め(2)



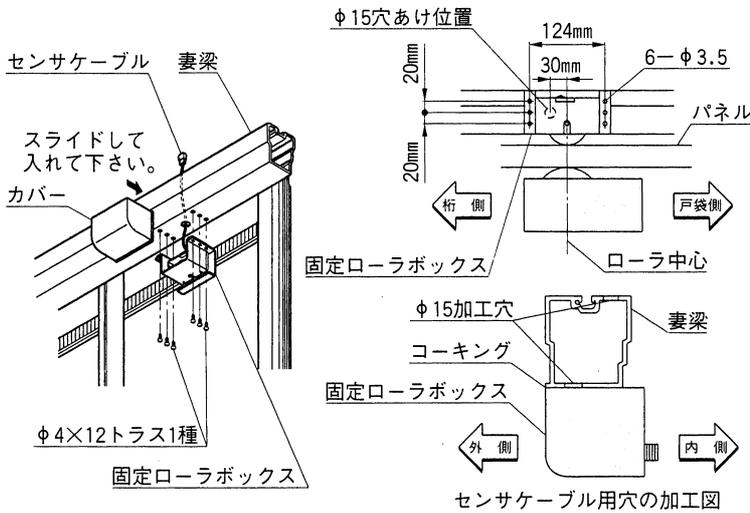
1 駆動ローラボックス取付けアングルを桁(または妻梁)につき当て下図寸法を参考にネジ止めして下さい。

(パティオ・パティオF・フィールド・パーゴラの各タイプ・各納まり共通)

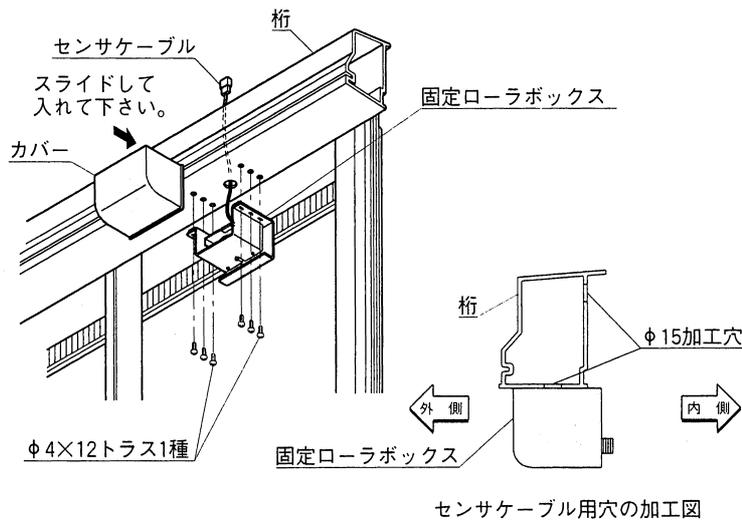
- 戸袋FIXが2枚の場合、FIX取付け枠外面より110mm以上
- 戸袋FIXが1枚の場合、FIXフレームより150mm以上
- 駆動ローラボックスの取付けは、駆動ローラ調整ツマミ用シャフトを時計方向へいっぱいに廻した状態で行なって下さい。

3. 固定ローラボックスの取付け

3-1 パティオタイプ・パティオFタイプ・フィールドタイプ 両開き・納め(1)・納め(3)



納め(2)



❶ 固定ローラボックスのローラを駆動ローラボックスのローラ中心に合わせてパネルに軽く押しあてて穴位置の寸法出しを行なって下さい。

❷ 穴位置にφ3.5の穴を6ヶ所あけて下さい。

❸ ローラ中心より桁側に30mm程ずれた位置にφ15の穴をあけて下さい。

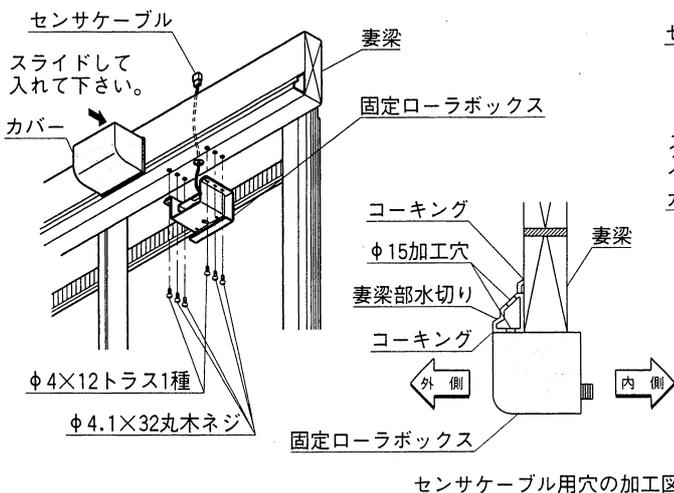
❹ 固定ローラボックスのセンサケーブルを加工穴(φ15)を通して駆動ローラボックス側に渡してから固定ローラボックスをネジ止めして下さい。

❺ 固定ローラボックス用カバーをスライドして入れて下さい。

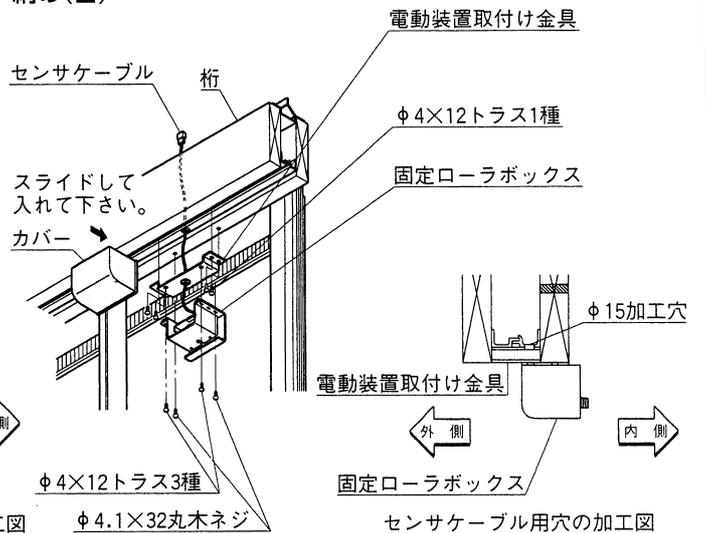
<注意>

● 納め(2)およびパーゴラタイプも下図を参考に同様の作業を行なって下さい。

3-2 パーゴラタイプ 両開き・納め(1)・納め(3)

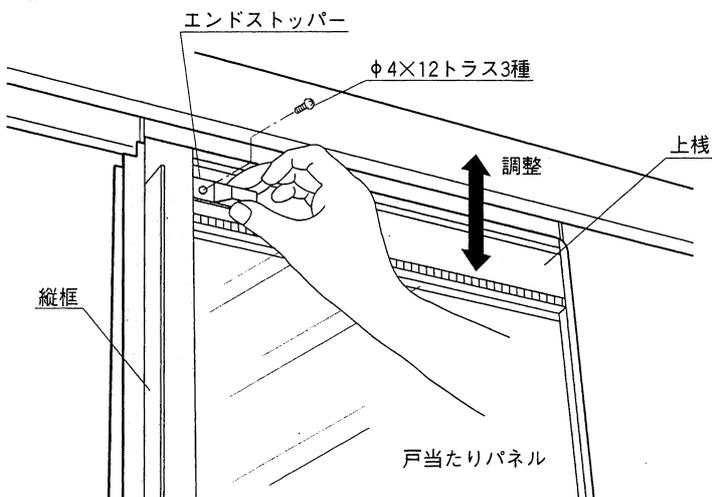


納め(2)



4. エンドストッパーの取付け

4-1 開動作のエンドストッパー取付け

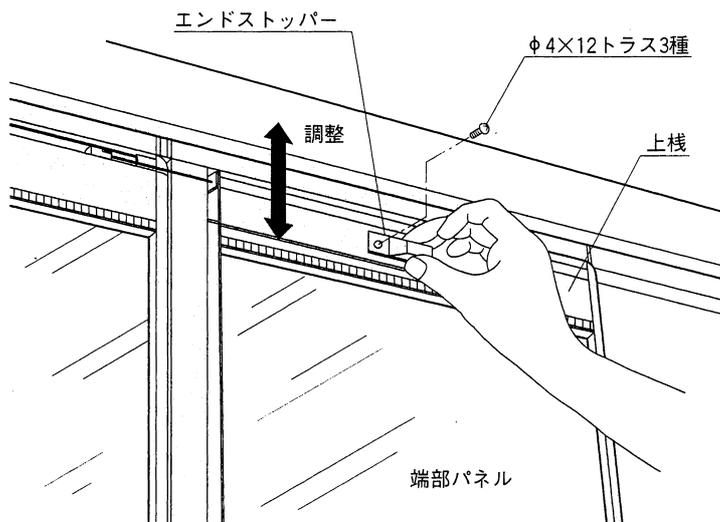


1 戸当たりパネルの縦框端にエンドストッパー端を合わせ、さらに駆動ローラボックスの閉リミットスイッチの中心にエンドストッパーの中心がくるように上棧の上下方向で位置合わせを行ないネジ止め位置を決めて下さい。

(エンドストッパーを両面テープで仮止めしておくとし位置決め作業がはかどります。)

2 下穴(φ3.5)をあけ、エンドストッパーをネジ止めして下さい。

4-2 閉動作のエンドストッパー取付け



1 パネルを全閉にした状態で駆動ローラボックスの閉リミットスイッチの中心にエンドストッパーの中心がくるようにして端部パネル上棧へのネジ止め位置を決めて下さい。

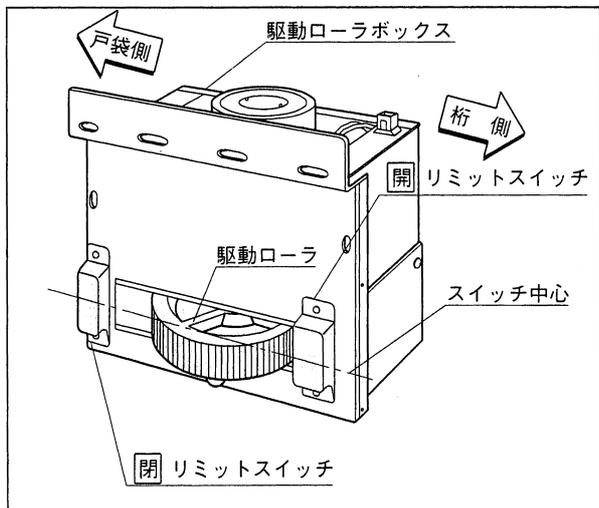
(エンドストッパーを両面テープで仮止めしておくとし位置決め作業がはかどります。)

2 下穴(φ3.5)をあけ、エンドストッパーをネジ止めして下さい。

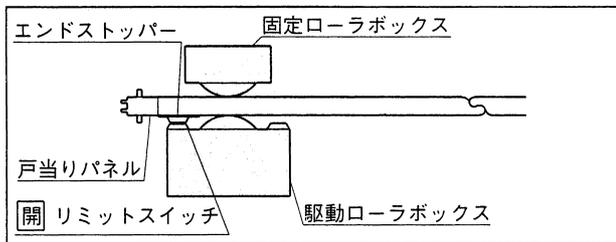
<注意>

- エンドストッパーの取付け位置が適当でない場合、安全機構の動きでパネルが完全に閉まりません。(一旦閉まった後、開く方向に少し戻ります。)

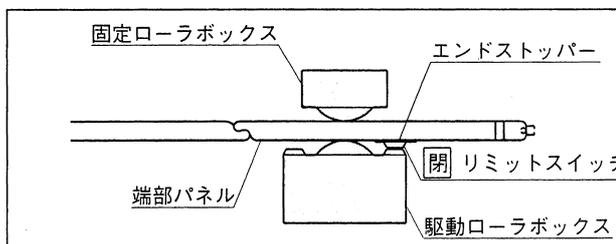
駆動ローラボックス (外観左)



全開時の納まり略図



全閉時の納まり略図



5. センサケーブルおよび電源ケーブルの接続方法

電源端子台

電源スイッチ

保護カバー

制御基板

受信基板

固定ネジ

電源端子カバー

端子ネジ

アース線

電源コード

電源スイッチ

ONにする

センサケーブル

コネクタ

センサケーブル用コネクタ

- 1 電源端子カバーの固定ネジをはずして端子ネジを緩めて下さい。
- 2 電源コードの被覆をとりAC100V明記の場所にネジ止めして下さい。
- 3 アース線(緑色)の被覆をとりネジ止めして下さい。
- 4 電源端子カバーをネジ止めして下さい。
- 5 電源スイッチをONにして下さい。
- 6 固定ローラボックスからのセンサケーブルをセンサケーブル用コネクタに差し込んで下さい。

<注意>

- 電源工事は必ず電気工事士の人が行って下さい。

6. 両開き時のコード番号設定方法

受信基板左下のコード番号設定スイッチ

ON

OFF

外観左

外観右

全部OFF

1~5番OFF
6番ON

コード番号設定スイッチ

- 1 外観左側の駆動ローラボックス内コード番号設定スイッチを全部OFFにして下さい。
- 2 外観右側の駆動ローラボックス内コード番号設定スイッチの1~5番をOFF、6番をONにして下さい。

<注意>

- 片開き時(納め(1)・(2)・(3)時)および3台以上設置する場合には次ページ以降を参照して下さい。

7. カバーの取付けおよび電動装置の調整方法

駆動ローラボックス用カバー

駆動ローラボックス

シャフト

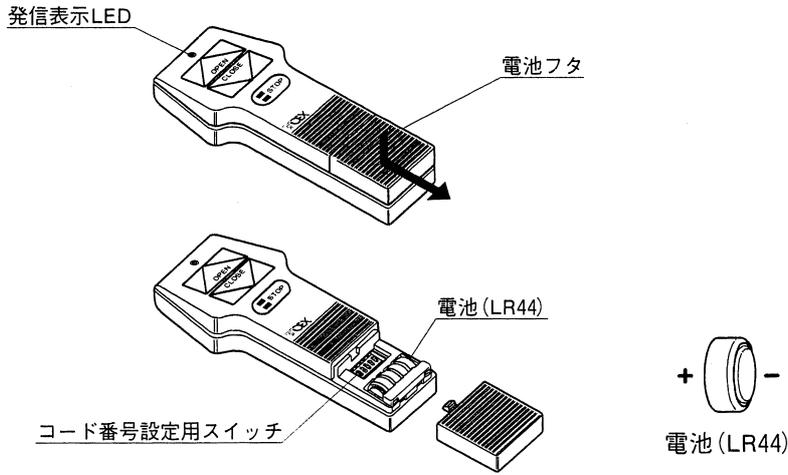
φ4×12トラス3種

駆動ローラ調整ツマミ

電動装置の調整は、FREEになっているツマミをLOCK方向へいっぱいまで回した状態から、1回転半ツマミを戻すのが標準です。ただし、取付状態により異なる場合がありますのでその際は再調整を行なって下さい。

- 1 駆動ローラボックス用カバーをネジ止めして下さい。
- 2 シャフトに駆動ローラ調整ツマミを挿し込んで下さい。
(ツマミを廻すことによりパネルの挟みこみの強さが変化しパネル開閉を調整することができます。)

8. リモコン送信器の電池の入れ方



❶電池フタを押し下げながら矢印方向へスライドさせて下さい。

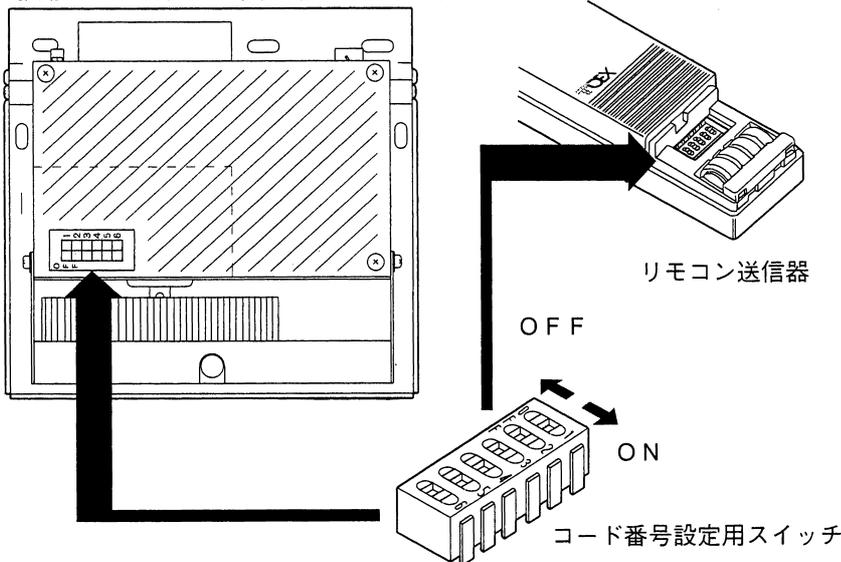
❷電池を入れたら各押しボタン (OPEN / CLOSE / STOP) を押して発信表示LEDの点灯と発信音がすることを確認して下さい。

<注意>

●電池の極性をまちがえないように注意して下さい。

9. 片開き時(納め(1)・(2)・(3)時)のコード番号設定方法

駆動ローラボックス (外観右あるいは左)

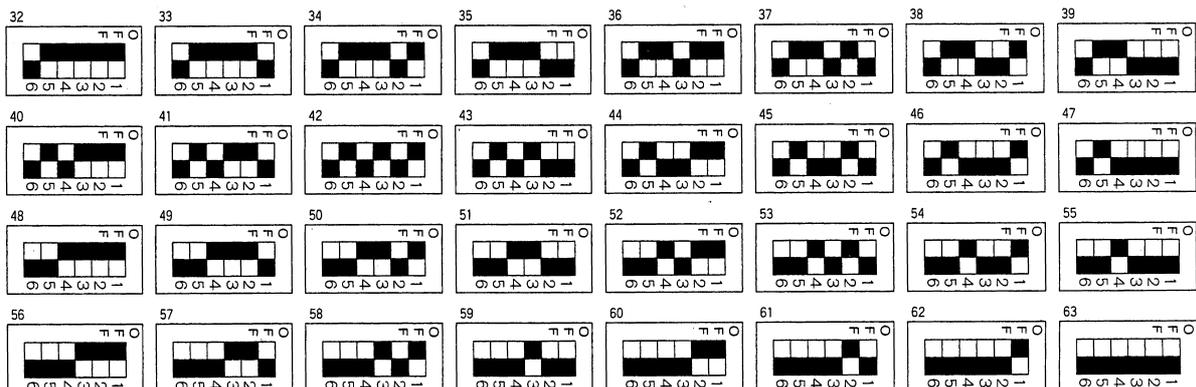


❶駆動ローラボックスとリモコン送信器のコード番号設定用スイッチを同一番号に設定して下さい。(下図から選択)

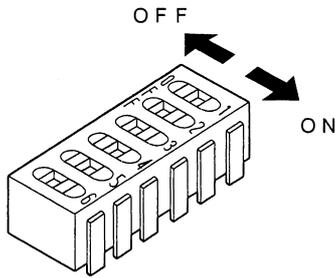
<注意>

●6番目のスイッチが必ずONであることを確認して下さい。

片開き時(納め(1)・(2)・(3)時)に設定できるコード番号(32種)



10. 3台以上設置する場合のコード番号設定方法

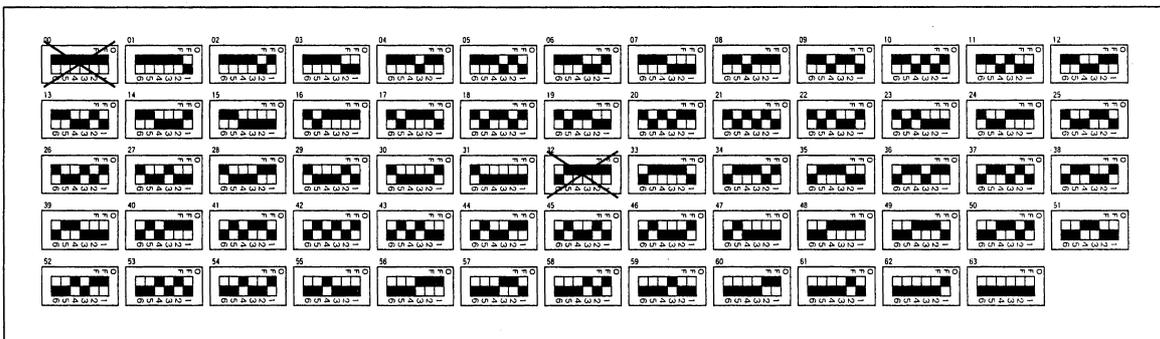


コード番号設定スイッチ

1台のリモコン送信器で操作できるのは電動装置2台(両開き時)までです。
リモコン送信器の操作場所から見通しで半径20m以内(条件によって距離は変わります)に3台以上電動装置を設置する場合にはリモコン送信器を追加して既に設定されているコード番号とは別の番号に設定して下さい。

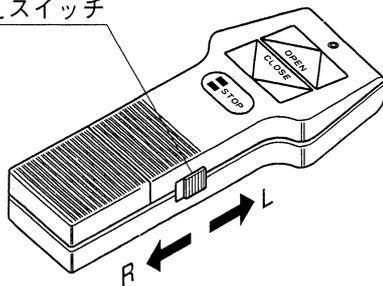
(基本パターンで両開きのコード番号が設定されている場合、番号00と32が使用済みとなります。それ以外の番号を設定して下さい。)

設定できるコード番号(62種)



11. リモコン送信器の使い方

切替えスイッチ



①切替えスイッチの使い方

(両開き時)

L : 外観左パネルをリモコン操作できます。

R : 外観右パネルをリモコン操作できます。

(片開き時)

LあるいはRのどちらでもリモコン操作できます。

②各ボタンの使い方

OPEN : ボタンを押すとパネルが開きます。

CLOSE : ボタンを押すとパネルが閉まります。

STOP : ボタンを押すと動作が停止します。

<注 意>

- 開と閉の動作を反転させる場合には、必ずSTOPボタンを押して動作を一旦停止させてから行って下さい。

12. 電動と手動の切替え方法

切替えは、停電あるいは故障等により手動開閉にしたい場合に操作して下さい。

①電動から手動にする場合

電動装置の駆動ローラ調整ツマミをFREE方向へいっぱい回して下さい。

②手動から電動にする場合

電動装置の駆動ローラ調整ツマミをLOCK方向へいっぱい回した後、1回転半戻して下さい。

取付け状態によって異なる場合がありますので、その際は再度調整して下さい。

13.動作確認

取付けおよびコード番号の設定が終了したときは、パネル全開および全閉の操作を2～3回行ない下記の問題がないことを確認して下さい。

本装置には人や置き物等がパネルに挟まれた時に自動的に動作を停止し戻す安全機構がついています。

パネル開閉に問題ないことを確認した後に、手でパネルの動きを止める等して実際に動作することを確認して下さい。

現 象	原 因	参照ページ
モータが動作しない (モータ音がしない)	電源コードが繋がっていない	5
	電源スイッチがONになっていない	5
	リモコン送信器の電池切れ (発信表示LEDの点灯又は発信音(ピー音)がしない)	6
	コード番号の設定が間違っている	5, 6, 7
モータ動作するが途中 で止まってしまう	センサケーブルのコネクタがはずれている (コネクタが最後まで差し込まれていない)	5
	安全装置が動作している	
	①パネル軌道の途中に障害物がある	本体取付け 説明書
	②手動時のパネル開閉が重い	
	③エンドストッパーの取付け位置が悪い	
	(パネルを閉じる時にストッパーで停止する前に安全装置が働いてしまった)	4
	④駆動ローラ調整ツマミの調整が適当でない	5
⑤固定ローラボックス取付け位置が悪い	3	

<工事店様へ>

①設置場所の確認

- ①施工場所に寸法的に正しく納まるか確認して下さい。
- ②主屋の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認して下さい。
- ③施工場所の気象条件(風、雪等)に合った商品かどうか確認して下さい。
- ④強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けて下さい。
- ⑤スライディングパネルの通り路に障害物がないか確認して下さい。

②規格表、梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認して下さい。

③組立、施工途中では

- ①ボルト、ビスは弊社純正品の規定本数を確実に締付け固定して下さい。
- ②取付説明書の順序通り組付けて下さい。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
- ③アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにして下さい。

④この商品は、過電流保護付き漏電ブレーカーの設置とアース工事(第三種設置工事)が必要です。電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼して下さい。

⑤製品の改造は絶対に行わないで下さい。

⑥施工完了後は

- ①ボルト、ビス等に緩みがないか確認して下さい。
- ②施工中の汚れは取り除き、誤ってつけたキズは、補修塗装をして下さい。

⑦施工終了後、取付説明書は取扱説明書といっしょに施主様にお渡し下さい。

<施主様へ>

使用前に必ず<取扱説明書>をお読み下さい。



IF-E①